

スマートセンサー勉強会

大城エネルギー
金沢丸善 導入2社の事例共有

ゼロスペックで
金沢市内で

【金沢】ゼロスペック

（本社札幌市中央区・多田満朗社長）はこのほど、金沢市内で「スマートオイルセンサー勉強会 in 北陸」を開催。大城エネルギー（本社能美市大浜町）と金沢丸善（本社金沢市松島）の具体的な事例を共有し、参加者はセンサーへの理解を

深めた。

冒頭、登壇したゼロスペック営業本部の神大地エンタープライズ

セールズ部長は配送業界における直近の状況として「人手の確保」「効率性」「維持コスト」をはじめ、多くの課題が山積していると指摘。これらを解決するため「センサーを

活用し、データに基づいた持続可能な配送計画へ転換することが重要」と訴えた。

事例紹介で大城エネルギー小松支店の上玉利勲氏は、業務の属人化や灯油切れに対する心理的負担などの配送課題に言及した。同社

では導入により「誰でも同じ基準で配送」を実現。「灯油切れの発生はゼロになり、配送回数や人員の削減にもつながった。結果として大幅な経費削減と労働環境の改善にも成功した」と報告した。

営業部長は、導入後はソフト調整など配送管理が容易となり、業務の不均衡も改善したことを明かし、さらに「顧客・配送員とも油切れのストレスが大きく軽減した」と評価。補助金などを有効に活用することで「費用対効果は高まる」とした。

も参加者を驚かせた。また「目先の配送料にこだわるのではなく、センサー設置の安心感が顧客離れを防止する効果もある」（大城エネルギー）との回答もあった。

金沢丸善の竹内博紀

質疑応答では、センサー導入に関わる「機器代や通信費の転嫁」についての質問があった。両社とも導入コストを灯油代や配送料に転嫁するのではなく

「中小企業省力化投資補助金」の対象製品として現在登録を申請中。センサーの今後については、モバイルアプリや販売店・顧客間の双方向コミュニケーションツールの開発などの新機能拡充も進めていく考えだ。



神大地部長



上玉利勲氏



竹内博紀営業部長

SSによると、先 今回元売系SSの優位性が高いが伝えられたケースはこのレベルまでは 次の2点。ある商社系販



神大地部長



上玉利勲氏

「センサー設置世帯の料金を安くする」（金沢丸善）のような従来の発想を覆す運用手法

も参加者を驚かせた。また「目先の配送料にこだわるのではなく、センサー設置の安心感が顧客離れを防止する効果もある」（大城エネルギー）との回答もあった。